

関西電力管内における平成25年夏の電力需給見通し検証結果等（概要）

平成25年4月25日
関西広域連合エネルギー検討会
電力需給等検討会議

関西電力管内における平成25年夏の電力需給見通しや対策について、関西広域連合として、専門家の参加の下、関西電力にも情報提供を求めながら検討した。

1 電力需給見通しの概要

(1) 需給の算定手法

- 関西電力の平成25年夏の電力需給については、国の「総合資源エネルギー調査会総合部会電力需給検証小委員会」において、ピーク時（8月）の見通しとして、需要 2,845 万 kW、供給力 2,932 万 kW（供給予備力 87 万 kW、3.0%）が示された。
- 関西広域連合においては、関西電力にデータ提供を求め、大飯原子力発電所 3、4 号機が順次定期検査に入る 9 月についても需給の状況を確認した。
- 需要及び供給力の算定手法は、平成24年夏とほぼ同様であり、得られた数値は妥当なものであると考えられる。

(2) 供給予備力

- その結果、関西電力管内では、発電施設のトラブルリスク管理や他電力からの融通、一定の節電量の確保などを前提に、平成25年夏を通じて供給予備力 3%を確保することができる見通しであり、電力需給が逼迫する可能性は低いことを確認した。
- また、関西電力においては、この電力需給の見通しにおいて計上されているもの以外にも、随時調整契約などによる需要の抑制策を講じているほか、試運転中の火力発電施設など、安定した供給力とはいえないものの、一定の供給力を増強できる可能性があることも確認した。
- さらに、中西日本全体としては、5.9%の供給予備力が確保されている状況である。

(3) 定着節電量

- 需要のうち節電影響については、関西広域連合として独自にアンケート調査を実施し、着実な定着節電の推計量としては 185 万 kW、協力要請の働きかけによってさらに見込まれる節電分を加算すると、節電量としては最大 341 万 kW が得られると推計した。
- 一方、国の検証で示された定着節電影響 268 万 kW は、関西電力が実施したアンケート調査に基づくものであり、関西広域連合の着実な定着節電の推計量 185 万 kW と比較すると 83 万 kW 多くなっている。
- 差の要因としては、節電量の推計方法の違いのほか、期間中の平均的な節電量の推計か需要ピーク時の推計かの違い、質問の仕方の違いなどが考えられるが、関西広域連合が推計した節電量の最大 341 万 kW までの範囲に入っていることなどから、国の推計は概ね妥当であると考えられる。

(4) リスク管理としての需給想定

- なお、トラブルリスクについては、中西日本全体として過去 5 年間で最大の規模の計画外停止が生じた場合、随時調整契約の発動や東日本からの融通を行ったとしても、中西日本全体での供給予備力が 3%を下回り、電力需給が逼迫する可能性がある。

- 関西電力は、このようなリスクも踏まえ、大口需要家に対するネガワット特約や、小口需要家を対象としたBEMSアグリゲーターの活用等による需要抑制方策を実施するほか、火力発電所の巡回点検の強化や休日・夜間を利用した早期復旧作業などのリスク軽減対策を講じるとしている。
- また、大飯原子力発電所3、4号の定期検査前停止の想定については、2基の供給力236万kWに加えて揚水発電の供給力205万kWの計442万kWが低下するため、予備率5%を超える中西4社から融通を受けるとすると、関西電力の予備率としては0.6%にとどまるが、中西6社全体の予備率としては3.3%であり、最低限必要とされる3%は上回ることになる。

2 電力需給対策の概要

- 電力需給の想定には、定着した節電（ピーク時268万kW、平成22年夏の最大電力需要比8.7%）が織り込まれているが、これは深刻な電力不足が懸念され、様々な節電協力要請を実施した平成24年夏の節電実績の7割程度の節電量に相当する。
- 関西広域連合で実施したアンケート調査では、節電行動の“きっかけ”は節電協力の呼びかけであるとの回答も多いことや、省エネ・省資源については、電力需給の状況に関わらず推進していくべきものであることから、今後も引き続き、電力需要の多い時期を中心に一定の節電・省エネをしっかりと呼びかけていく必要がある。
- また、節電・省エネの呼びかけに際しては、“わかりやすく”という観点からも、一定の“目安”となる数値を示すとともに、それに取り組む具体的な事例を合わせて示すことが望ましい。
- 平成25年夏についても、節電努力によって安定した電力供給の確保ができるという事実を周知するとともに、省エネ型社会への転換など中長期的な観点も踏まえ、節電・省エネの取組みとして、日頃から普及啓発を進める必要がある。
- 上記を踏まえ、関西広域連合としては、節電・省エネの定着に向けて、国や関西電力と協力し、府県民や事業者に対して必要な働きかけを進めていく。

関西電力管内における平成25年夏の電力需給の総括表

		7月	8月	9月前半	9月後半
供給予備力		87 (3.0%)	87 (3.0%)	84 (3.0%)	74 (3.0%)
需要		2,845	2,845	2,764	2,469
供給力(合計)		2,932	2,932	2,848	2,543
	原子力	236	236	118	0
	水力	223	205	188	188
	火力	1,482	1,478	1,483	1,388
	揚水	425	420	429	393
	新エネ	0.3	0.3	0.1	0.2
	他社・融通	566	591	631	574
		他社	524	525	508
	融通等	42	66	122	62